

北秋田市教育委員会
令和3年11月定例教育委員会会議録

1. 招集年月日 令和3年11月25日(木)
2. 招集場所 北秋田市役所第二庁舎 第三会議室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後3時30分
4. 出席委員 教育長：佐藤 昭洋 委員：佐藤 正俊
委員：佐藤 英樹 委員：蒔苗 隆
委員：藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 教育次長：小坂 竜也 総務課総務係長(書記)：工藤 留理子
総務課長：金田 浩樹 北部学校給食センター所長：福田 いずみ
学校教育課長：山田 理 義務教育係長：佐藤 貴子
生涯学習課長：小塚 重光 生涯学習係長：成田 美穂子
スポーツ振興課長：藤野 義則 文化係長：三澤 照美
スポーツ係長：松橋 康浩
7. 傍聴者 なし
8. 報告事項 (1) 教育長報告
① 教育長動静
(2) 各課長所管報告
・総務課
① 11月行事報告及び12月行事計画
② あきたリフレッシュ学園
③ 教育留学推進事業
・学校教育課
① 11月行事報告及び12月行事計画
② 学校の状況
・生涯学習課
① 11月行事報告及び12月行事計画
・スポーツ振興課
① 11月行事報告及び12月行事計画

9. 附 議 案 件

- (1) 議案第 50 号 令和 3 年度北秋田市一般会計補正予算 (第 7 号) の北秋田市議会提出について
- (2) 議案第 51 号 北秋田市小中学校適正規模・配置再編プランの変更について
- (3) 議案第 52 号 令和 3 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について

10. そ の 他

11. 会 議 録

佐藤教育長	ただいまから、11月の定例教育委員会を開会します。 それでは、署名委員の指名をさせていただきます。本日の署名委員は藤本委員にお願いします。
藤本委員	はい、分かりました。
佐藤教育長	次に、次第2番「前回委員会会議録の承認」です。事前に事務局から配付されている10月定例教育委員会の会議録の内容について、訂正等がある方はいらっしゃいますか。
委員	ありません。
佐藤教育長	ないということですので、会議録については承認とさせていただきますともよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	承認とします。 続いて、次第3番「諸報告」です。(1) 私、教育長から動静について報告いたします。 1ページをご覧ください。10月28日、総合教育会議、定例教育委員会と、委員の皆さんからたくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。29日、11月2日、9日、12日の4日間、市教育委員学校訪問を行い、今年度は全て終了いたしました。各学校で委員の皆さんから出された御意見、アドバイスをもとにして、年度末に向けてしっかり取り組んでくれるだろうと思っていますし、来年度の構想も、今、校長が立てているところだと思います。この後も人事異動のヒアリングの際には、校長の来年度の経営計画を提出してもらうことにしていますので、おそらく皆さんの御意見がそこに反映されてくるのではないかと楽しみにしているところです。30日、全国小学校キャリア教育研究協議会大館大会、全国から関心のある小学校の先生

佐藤教育長	<p>方、あるいは教育委員会の担当者などが集まって、全国大会が行われました。私も全体会に出た後、第1分科会に出て、高橋教育長の「ふるさとキャリア教育の10年」の発表を聞きましたが、すばらしい取り組みで、現在大館市で取り組んでいるふるさとキャリア教育のベースが感じられました。何よりもふるさとキャリア教育をやった成果として、高校生の地元就職者が増えてきたこと、一度地元を出た人たちも戻ってきているといったところが、非常に大きくクローズアップされて発表されておりました。まさに、私たちもそこを目指しており、北秋田市の魅力を感じてもらい、将来地元を支えていくような子どもたちを育てていければと、強く感じた一日でありました。全国から来た方々に、北秋田市の取り組みについても分科会の中で若干紹介させてもらいました。31日、森吉中学校創立50周年記念式典がありました。卒業生の本城奈々さんが講演を行いまして、途中で歌を挟みながら、自分のやってきたことについて子どもたちにお話をさせていただきました。1・2年生からは、どうして歌手を目指したのか、東京に行ってどうして帰ってきたのか等、自分の進路決定に向けていろいろ質問が出て本当はいい講演会だと思って聞いてきました。その後の「モルダウ」の全校合唱は圧巻でした。開校当初からかどうかわかりませんが、私が知っている森吉中の全校合唱はずっと「モルダウ」でした。それでいいのかなと自分が教員の時は思っていたのですが、保護者も歌えることが森吉中の大きな強みで、親も子どもも同じ曲と一緒に歌って、お母さんとお父さんが卒業生であれば家族で合唱ができるのはいいことだなと感じたところです。11月2日、大館北秋田中学校体育連盟の会長が来年度の補助金のお願いに来庁しました。3日、浜辺の歌音楽祭、本当に残念でしたけれども2年連続で中止とさせてもらいました。来年こそはできるのではないかと楽しみにしています。4日、全州市町村教育委員会教育長会議、例年、教育委員の方も1人参加している会でしたが、今年は人数を制限するというので教育長のみ参加ということで開催されました。今年のテーマは、不登校やいじめ、子どもの貧困、ヤングケアラー等でした。義務教育課や県の福祉の方の関係部局から説明いただいた後で、中央教育事務所のスクールソーシャルワーカーの佐々木麻衣子さんが、「子どもを取り巻く現状と支援について」ということで、子どもの貧困や児童虐待について講演してくださいました。「困った子どもは困っている子ども」だといった視点を持っていかなければならないという話と、子どもの最善の利益を考えてやるのは、私たち大人の役割だといった、スクールソーシャルワーカーならではの話をさせていただきました。5日、大館北秋田校長会研究大会が行われました。6日、阿仁地区保護者説明会では、10月に行った統合準備委員会の際にスケジュールの変更についてお話ししたら、阿仁中の保護者は閉校が5年度末であると理解していたので、保護者にも説明してほしいということで、阿仁中のPTA研修会に学校教育課長と2人で行って、義務教育学校の開設が令和5年4月になったということをお話しし、従って令和4年度末に阿仁地区の小中学校とも閉校するというをお伝えしました。名称などについても若干質問がありましたが、大きな課題といえますか、課された課題はなかったというように感じております。保護者の方々にも受け入れてもらっていると感じてきました。8日と17日、あきたリフレッシュ学園の面接をしましたが、市内の小学6年生の女子、17日は市内の中学1年生の男子が新たにあきたリフレッシュ</p>
-------	--

佐藤教育長	<p>学園の園生になっております。同じ8日ですが、県生涯学習課長があきたりフレッシュ学園を視察したいということで学童センターへ行きました。大変感心して見ておりました。いずれ教育留学については、県生涯学習課から支援をいただいていますので、力を合わせていきたいということと、不登校で来る市外の子どものための宿泊を補助していただけないかというお願いをしたところですが、それはなかなか実現しておりません。8日、北管内の教育長会議がありまして、令和4年度の人事異動の県の方針が示され、スケジュールも出されました。これを受けて10日に市の校長会議を行いました。そして、明日26日から、各学校長のヒアリングをしたいと計画しています。同日、2回目の教育支援委員会がありました。令和4年度の特別な支援を要する子どもたちの確認と、特別支援学級入退級の判断をしていただきました。12日、スポレクの総合開会式でバスケットボールに行ってきましたが、6チームが参加しており、なかなかいい動きをしている試合を見てきました。13日、ちいさな秋の音楽会ということで、本来であれば屋外でやる予定だったのですが、天候が悪くて森吉コミセンの中でやりました。浜辺の歌音楽館少年少女合唱団の合唱と、オカリナや公民館講座のカホンの演奏が行われました。先日新聞に出ていましたが、藤里町の村岡さんを講師に、森吉公民館でカホン講座をやっています。箱型のドラムで、箱の上に座って下の箱をたたくのですが、そういった太鼓と違いますかドラムで、なかなか味のある音で面白いと思っております。公民館の職員も、講座の塾生になって演奏しておりました。15日は市職員の30年勤続表彰がありまして、教育委員会からは生涯学習課文化係長と学校教育課義務教育係長の2人が表彰されました。17日、高齢者叙勲ということで、随分遅くなりましたけども三浦多加稔先生に伝達させていただきました。88歳になられ、車の免許をどうするか悩んでいるということでしたが、お元気でいろいろなお話をさせていただきました。同じ日に高坂勇治先生の死亡叙位の伝達式、義理の弟さんの畠澤先生が見えて伝達させていただきました。高坂先生は私が講師としてスタートした時、合川東小の校長先生でお世話になりましたので、昔を懐かしく感じたところです。22日、2回目の阿仁地区の統合準備委員会を行いまして、後で学校教育課長から詳しく説明があると思いますが、12月1日から15日にかけて校名を公募することが決定されました。24日、夜8時から9時半ごろまでかかりましたが、大館北秋田歯科医師会との協議会、北秋田市には歯科医師会がなくなって、大館の方と統合して大館北秋田歯科医師会という組織になっておりまして、学校歯科医師をお願いするにあたり、その組織を通して依頼してほしいというお願いをされました。今後はそのようにして取り組んでいきたいとお答えしました。また、年に1回は歯科医師会との協議会も行ってほしいということも要望されました。それについては、来年度以降、考えていくことにしております。</p> <p>以上私の動静についてお話しましたが、皆さんから質問やご意見ございませんか。</p> <p>なければ、次に(2)各課所管事項の報告について、初めに総務課からお願いします。</p>
金田総務課長	<11月行事報告及び12月行事計画について報告>

金田総務課長	資料のとおり。 <総務課報告概要> 1. あきたリフレッシュ学園 (1) 利用状況 学園生16名(中学生10名、小学生6名)前月比2名増。 (2) 活動内容 資料のとおり。 2. 教育留学推進事業 12月25日から28日まで、短期教育留学を実施予定。募集人数は小学6年生から中学3年生までの15名程度。
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。 なければ、次に学校教育課からお願いします。学校教育課の報告の中で、職員及び児童・生徒に関する内容につきましては、プライバシーに配慮して内容を非公開としてもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意をいただきましたので、職員及び児童・生徒に関する内容については非公開で報告します。 では、学校教育課長から所管報告をお願いします。
山田学校教育課長	<11月行事報告及び12月行事予定について報告> 資料のとおり。 <学校教育課報告概要> 1. 児童・生徒数 11月1日現在 1,602名 前月比増減なし。 2. 不審者等の情報 資料のとおり。 3. クマやサルを目撃情報への対応 資料のとおり。 4. 阿仁地区3校の統合に向けて ・第2回統合準備委員会で協議された校名募集について、応募要領に基づき説明。 <非公開資料説明>
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。
蒔苗委員	校名募集についてお尋ねします。応募条件の「卒業生」ですが、その人が本当に卒業生か確認できるものですか。例えば、卒業生の家族等はどうなりますか。
山田学校教育課長	卒業生の家族は念頭に置いておりません。本当に卒業生ということやっていきたいと考えています。それから、本当に卒業生かどうかというのは名簿や卒業台帳で確認できると考えています。

佐藤正俊委員	<p>不登校に関わって心配なことがあったのでお話しします。</p> <p>つい最近ですが、ある学園生が学園で必要な教科書を取りに、子どもたちが退校した後、夜に学校に行ったそうです。自分の教室に入ってロッカーから物を取り出したところ、埃だらけだったとお母さんに話したそうです。もう半年近く学校へ行っていなかったのも、もし、きれいに整理整頓されていれば、ちゃんとやってくれていると感じたのですが、埃だらけで、本人もそうですが母親も少々がっかりして、そういう話をしていたということを学園に報告してくれました。</p> <p>私たちの市でも、不登校の子どもたちが大変多くなっています。たまたま学校に行った時に、何となく自分が存在している雰囲気がないとか、2学期の目標に自分の名前がなかったとか、そのように感じてしまいがちです。学校として、その子どものことを忘れないように、学級の中で忘れないようにやっていかなければ、子どもが学校に帰った時に何となく居づらくなってしまふ、行きづらくなってしまふ、ということになりかねないと感じました。とても寂しいお話でしたが、何かの機会に話してもらえばいいなと感じたので話しさせていただきました。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のお話は、私も何かの機会に紹介させてもらいたいと思います。</p>
佐藤教育長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ、次に生涯学習課からお願いします。</p>
小塚生涯学習課長	<p><11月行事報告及び12月行事予定について報告> 資料のとおり。</p>
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。</p>
佐藤英樹委員	<p>北秋田市全体の文化祭は今年も出来なかったようですが、各公民館でどのような活動をしているのか坊沢公民館と綴子公民館に見学に行きました。坊沢公民館の新しい館長さんが陶芸をやられる方のように、北秋田市内で陶芸をやっている方々の作品が並べられていましたので、どこで作品を作っているのか聞いたら、ひまわり陶芸ハウスを年間通して利用しているとのことでした。レベルの高い、すばらしい作品が作られていて、やはりこういう施設は残さなければならぬと思ったので発言させていただきました。保育園児も利用しているようですが、もっともっと小さい子どもも利用して、陶芸に活発な動きが出てくれば良いのではないかと思います。</p>
小塚生涯学習課長	<p>以前にも、ひまわり陶芸ハウスをどう活用していくかというお話があったと思います。その時も、今後も広く利用していただきたいというお話をさせていただきましたし、現在合川地区に2団体、利用する団体もございます。また先ほど佐藤英樹委員がおっしゃったように、小学生や保育園児にも一部利用いただいていますので、今後も</p>

小塚生涯学習課長	これに満足することなく、せつかくの施設ですので数多く活用していただけるよう利用促進に務めて参ります。
佐藤教育長	以前、佐藤英樹委員が点検評価委員をやられた時に、利用率が非常に悪くて課題となっていた窯でしたが、その後、小学校の学校運営協議会、いわゆるコミュニティースクールの中で、コーディネーターから陶芸の方を紹介してもらって、正課クラブで定期的に取り組んでいます。学習発表会でも小学生の作品を展示していました。保育園はずっとやっていたし、準プロの方々が使ってくださいしていますし、少しずつ使われているのではないかと感じています。合川公民館が主体になって、頑張っ呼びかけていると思われま。
佐藤教育長	他にございませんか。 ないようでしたら、次にスポーツ振興課からお願いします。
藤野スポーツ振興課長	<11月行事報告及び12月行事予定について報告> 資料のとおり。
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。 なければ次に、次第4番「案件」に移ります。(1) 議案第50号 令和3年度北秋田市一般会計補正予算(第7号)の北秋田市議会提出については、12月定例市議会に提出するものですが、議会の告示前のため、非公開で審議したいと思いますよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意をいただきましたので、議案第50号は非公開で審議いたします。説明をお願いします。教育次長。
小坂教育次長	<非公開：議案第50号説明・質疑応答>
佐藤教育長	原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり議決とします。
佐藤教育長	次に、(2) 議案第51号 北秋田市小中学校適正規模・配置再編プランの変更について 説明をお願いします。学校教育課長。
山田学校教育課長	<議案第51号説明>

佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見はございませんか。
藤本委員	森吉中学校については記載されていませんが、今後考えていかなければならない、といったところは今のところはまだないということですか。
山田学校教育課長	森吉中学校に関しては、前回はプランの中にあっただけども、今回変更するプランにはないということです。
佐藤教育長	<p>森吉中学校は、不都合な部分を改修しながら対応していくというのが今の段階での考え方です。</p> <p>阿仁地区に義務教育学校が出来た時に、地域や保護者の方がどういったことを感じてくれるのか、というのが非常に大きなポイントだと思います。小中一貫教育を進めていって、森吉地区もそういった形でやれたらいいという地域の人たちの声が出てきた段階で、次のステージに入っていくのではないかと感じています。合川中との統合も、いくら中学校を統合していても生徒数はどんどん少なくなるし、最終的には鷹巣中と一緒にするかどうかという、それはまた距離的にハードルが高い。それらを考えた時、それぞれの旧町地域には何らかの学校が残っていくような形の方が、地域の活性化も含めて必要になっていくのではないかと考えています。</p> <p>中学校の部活動についても、合同部活動のようなことが出来ないか現在検討し始めており、これまでと違った形でいろいろとクリアして、小規模校の良さを生かした教育を進めていくことで、子どもの力を伸ばしていけるのではないかと感じています。</p> <p>今回の阿仁地区の義務教育学校の設立というのは、試験的にやるのではないですが、今後の本市の在り方について、それを目指していこうという目標になるような学校になっていくと私は考えています。</p>
委員	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。</p>
佐藤教育長	<p>はい。</p> <p>皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり議決とします。</p>
山田学校教育課長	次に、（３）議案第 52 号 令和 3 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について 説明をお願いします。学校教育課長。
佐藤教育長	<議案第 52 号説明>
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見はございませんか。

蒔苗委員	「ICTを活用した授業の割合が国や県の平均を下回っている」ということですが、活用した授業の割合とは、ICTを使っている時間のことを言っているのですか。時間いっぱいICTを使っているということなのか、それとも活用していれば、その授業は活用しているということになるのか、何をもって比較しているのですか。
山田学校教育課長	まず、この質問紙調査というのはアンケートのような形で、例えば「とてもそう思う」「思う」「あまり思わない」等と、子どもたちに答えてもらっています。 その中で、「普段の授業の中でICTを使った授業が多いと思いますか」という問いに対して、「とてもそう思う」とか「あまり思わない」とか答えた結果が下回っているということです。実際の数や何時間とか、そういうことではありません。
蒔苗委員	主観的な考え方で答えているのだらうとは思いますが、それがもっとICTを活用した方が良いと思ってそういった答えになっているのか、それともそういったことではなくて対面の方が良いと思っているのかで大分違うと思うのです。主観的なものの比較であると、比較出来ないのではないかと思います。
佐藤教育長	もしかしたら、この文章が紛らわしいかもしれませんね。授業ではなくて、蒔苗委員がおっしゃるように1時間の中でどのくらい使っているのかなのか、あるいは教科の割合なのか、1週間の中で使っている割合なのか捉えにくいので、むしろ質問の項目をしっかり入れた方が、はっきりと分かる回答になるのかもしれない。公表する前に検討してみてください。
山田学校教育課長	はい、担当と確認したいと思います。
藤本委員	質問紙調査結果には、市の重点目標を踏まえた質問紙とありますが、この質問は北秋田市独自で作ったものですか。それとも全国同じ質問なのですか。
山田学校教育課長	全国学力学習状況調査は、全国の子どもたちに同じ質問をして回答してもらって比較しています。
藤本委員	その項目の中で、北秋田市が重点を置いているものの結果だけをここに出しているということですか。
山田学校教育課長	そうです。質問紙の中で市の重点目標を踏まえていれば、この項目はこの重点目標だなど、それを比較するために選んだものです。
佐藤教育長	教科に関する正答率を見ると、全国平均より上回っているといえども、以前に比べて大分全国平均に近くなってきたと思います。 例えば、R3・中3の子どもたちが小6の時の結果がどうだったかという、H30・小6のところを見ることとなります。この結果を比較して、子どもたちの力が落

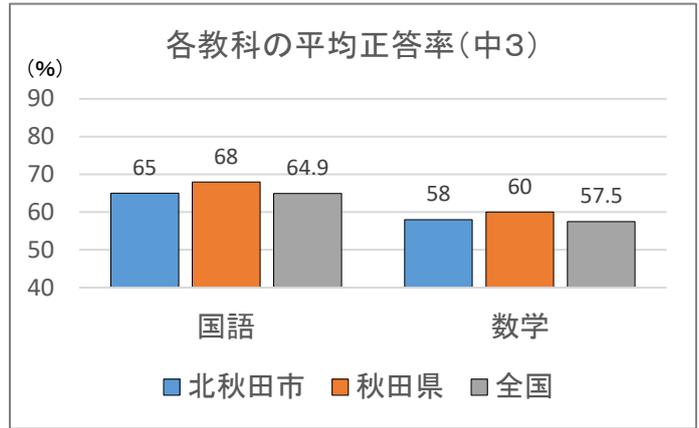
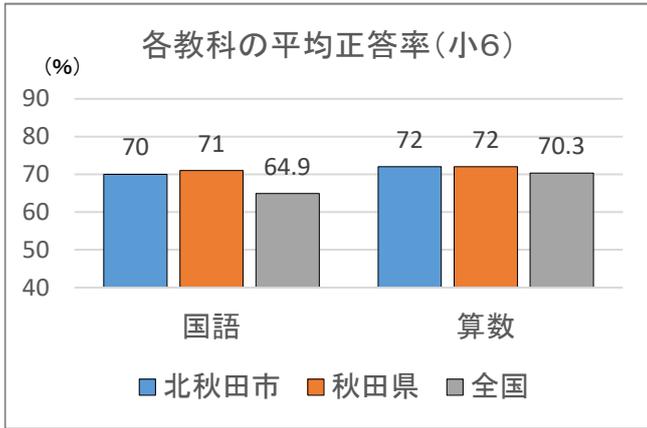
佐藤教育長	<p>ちてきたと見るのか、あるいは全国の平均が上がってきたと見るのか。両方の見方があって単純には分析が出来ないとは思っていますが、いずれ小6の時の力が中3になってもっと伸びるような取り組みはしているはずなのですが、秋田県全体を見ても全国との差がどんどん縮まっています。それぞれの都道府県でそれなりの取り組みを始めていますので、当然、全国の平均に近くなっていくと解釈はしています。</p> <p>この結果は、ホームページで公表することになります。</p> <p>他に意見ございませんか。</p> <p>なければ、ICTのところを修正した形で、決定してもよろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
佐藤教育長	<p>皆さんの同意を得られましたので、修正して原案のとおり議決とします。</p> <p>次に、次第5番「その他」に移ります。(1) 次回の定例教育委員会について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>次回の定例教育委員会は、12月22日水曜日、午後1時30分から、市役所第二庁舎1階第三会議室を予定しております。</p>
佐藤教育長	<p>(2) その他ですが、何かありますか。</p> <p>なければこれもちまして、11月定例教育委員会を閉会いたします。</p>

(午後3時30分開会)

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果分析

1 教科に関する調査の分析

- 国語と算数・数学の平均正答率は、全国平均を上回っており、良好な状態である。
- 県平均との比較では、国語、算数・数学とも小6は同程度、中3はやや下回っている。



北秋田市正答率の5年間の推移(小6)

年度	国語		算数		理科
R3	70	(+5.1)	72	(+1.7)	
H31	77	(+13.2)	72	(+5.4)	
H30	77	(+6.3)	58	(+3.3)	65
			65	(+1.5)	54
			54	(+2.5)	65
			54	(+2.5)	65
H29	80	(+5.2)	60	(+2.5)	85
			85	(+6.4)	50
			50	(+4.1)	
H28	77.0	(+4.1)	61.7	(+3.9)	81.2
			81.2	(+3.6)	50.0
			50.0	(+2.8)	

※1 平成30年度までは、国語、算数・数学とも左がA問題、右がB問題

北秋田市正答率の5年間の推移(中3)

年度	国語		数学		理科	英語
R3	65	(+0.1)	58	(+0.5)		
H31	79	(+6.2)	65	(+5.2)		54
			65	(+5.2)		(-2.0)
H30	81	(+4.9)	65	(+3.8)	74	52
			74	(+7.9)	52	72
			52	(+5.1)	72	
			72	(+5.9)		
H29	84	(+6.6)	78	(+5.8)	70	53
			70	(+5.4)	53	
			53	(+4.9)		
H28	79.7	(+4.1)	73.5	(+7.0)	70.3	49.9
			70.3	(+8.1)	49.9	
			49.9	(+5.8)		

※2 1段目:北秋田市正答率(%) 2段目:全国平均正答率との比較(%)

2 市の重点目標を踏まえた質問紙調査結果の分析

重点目標1

次代を切り拓くための資質・能力の育成

- 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを広げ深めることができていると感じている児童生徒の割合が高い。
- 国語や算数・数学の授業で学習したことが、社会に出たときに役立つと感じている児童生徒の割合が高い。
- 1日当たりの読書時間が、国や県の平均を上回っている。
- 意見交換や調査活動にICT機器を週1回以上使用している児童生徒の割合が国や県の平均を下回っている。

重点目標2

豊かな心と健やかな体の育成

- 道徳教育については、学級やグループで話し合い、自分の考えを深める授業が展開されている。
- 小・中学生どちらも、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が定着している。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考えている児童生徒の割合が高い。
- 「自分にはよいところがある」と捉えている割合が、小6は高いが、中3は国や県の平均を下回っている。

重点目標3

ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもの育成

- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている児童生徒の割合が全国平均を大きく上回っている。
- 将来の夢や希望を持っている児童生徒の割合が、全国平均を大きく上回っている。
- 小6は地域の行事に参加している割合が全国平均を大きく上回っているが、中3はその割合が下がっている。